

これから新しい春物シューズを購入するなら、ベッタンのフラットシューズがお勧めです。そのなかでも、春夏を先取りしたメタリックカラーがキラリ輝くシルバーのシューズでしょう。もちろんスパンコールやラメでキラキラ輝くシルバーメタリックは華やかですが、会社にも履いていけてカジュアルにも用途を広げたいなら、艶消しされたシルバーコートのものを選ぶとよいでしょう。ゴールドとは違い、同じメタリック色でもシルバーは冷たく、シャキッと引き締まった印象を与えてくれるので、ビジネスシーンで使ってもおかしくありません。



yuki.

また、パイソンなどの革素材にこだわったものや、型押しやリボン織りなどで表情を作ったタイプなら、足元の上品さと豪華さが出て、ちょっとしたパーティーなどにも使うことができます。これから春先に向かう季節に購入するシューズですから、素足で履けて、足の甲の部分がすっきり見えるパレーシューズのようなデザインがお洒落でしょう。

カラーレギンスと組み合わせると若々しくお洒落に演出できます。メタリックにキラキラ輝くレギンスを合わせれば、パーティーの装いにもなります。レギンスで細く足を強調できるだけでなく、足元のシルバーフラットシューズとの組み合わせは、脚全体が引き締まって見えて細く見せる効果もあるのです。

メタリックなシルバーフラットシューズを、スキニーデニムやショートパンツに合わせて、一足早い春を感じに街を颯爽と歩いてみてはいかがでしょうか。

Clipbox Topics

アウトドアや自転車通勤に 着るバッグ人気

昨年夏に、ポケットをいっぱいつけた「着るバッグ」をそごう・西武がプライベート・ブランドとして発売したところ人気になり、昨年12月からは第2弾として、目的に合わせた商品として同社の「eデパート」限定で販売しています。



ガーデニングのための着るバッグ

これは「いつ、どこで、何のために着るのかを計画的に考えて服を買うお客が増えている」ことに注目。収納ポケットが多く両手を自由にできる機能性と、シルエットを崩さず着こなせるデザインを両立させた「着るバッグ」というコンセプトで開発されたもの。

写真のガーデニング用「着るバッグ」には大小23個ものポケットが付けられています。2月中旬には、自転車通勤のためのリュック付きモッズコート、車でキャンプに行くときのリュック付きジャケットなどを新たに販売するとのことです。

(参考資料：織研プラス)



ファッション・ワンポイント:キラリ輝くフラットシューズ

クリップボックス・トピックス:着るバッグ人気

衣類のケア講座:衣類を汚すものは何?

衣生活の知恵:ダメージ加工品には生地が弱っているものも



まごころクリーニング

<http://homedry.or.tv/>



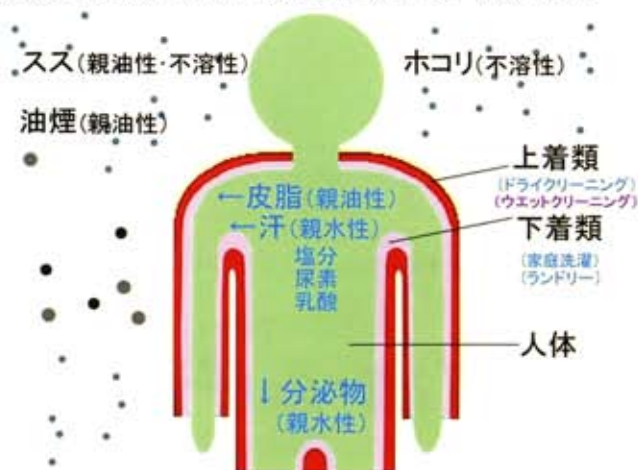
衣類のケア講座

衣類を汚すものは何?

衣類は、特にシミがついたわけでもないのに、汚れていきます。汚れの原因は、下着と外着とでも違っています。

●下着は体から出るもので汚れる

下着は、人の体から出てくる汗や皮脂、分泌物などによって汚れます。ですから、下着の素材は肌に優しく吸水性のある綿や耐久性があって水洗いに強いポリエステルなどが使われ、家庭用の洗剤や洗濯機もこれらの汚れを考えて作られているのです。



●外着はホコリやスス、油煙などで汚れる

外着を汚すものは、主に大気中を漂っている工場やトラックなどの排煙に含まれるススや色々な物質が微粒子になったホコリ、台所やレストランから排出される油煙などによるものです。

大気中には、目には見えませんが、大量の油分が漂っています。台所の換気扇は掃除を怠るとすぐに油でべとつきますが、その油は外に排出された油のごく一部で大部分の油は大気中を浮いているのです。これらの油煙は、汚れの原因となるばかりではなく、他の汚れ成分を衣類に接着する働きもするのです。油分は時間がたつと固着してしまいます。

●汚れには水に溶けるもの、油に溶けるもの、水にも油にも溶けないものがある

汗の主成分は塩分ですが、塩を水に入れると溶けてしまうように、汗汚れのほとんどの成分は水に溶けます。また、排気ガスなどに含まれる油煙は、水には溶けませんが油性の溶剤には溶けます。土ほこりなどは、水にも油剤にも溶けません。外着の表面を覆う汚れは、これらの成分が繊維にからんだり、浸透したり、あるいは油性汚れの接着力でこびりついたりしているのです。

不溶性	水溶性	油溶性
水にも、油(溶剤)にも溶けない物質	水に溶け、油(溶剤)に溶けない物質	水に溶けず、油(溶剤)に溶ける物質
<ul style="list-style-type: none"> ・スス ・土埃 ・粉塵 ・繊維屑 e.t.c. 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品・飲料などに含まれる糖、塩などの成分 ・汗などの分泌物に含まれる尿素などの成分 e.t.c. 	<ul style="list-style-type: none"> ・厨房、自動車、工場などから排気される油煙 ・食品に含まれる油分 ・人の皮膚を覆っている皮脂 e.t.c.



ダメージ加工品には生地が弱っているものも

着古し感やソフトな肌触りを演出するピンテージ加工、擦り切れたり破れたりしたラフなイメージのダメージ加工。これらの加工製品は、摩擦や引き裂きに弱くなっています。着古し感をつくりだすには、グラインダーなどで製品の表面を摩擦して染色の状態をムラにしたり、植物繊維を分解する酵素溶液にひたして、繊維の表面を溶かしてしまったりする加工がされて



ている場合があります。このような加工を施されたものは、未加工のものに比較して、着用中の摩擦によって擦り切れやすくなったり、ポケット周りが毛羽立ちやすくなったりしますから注意しましょう。

着用中には皮脂や大気中の油煙が付いていて濃く見えていても、繊維が切断されているので、ちょっとした着用動作でも毛羽立ち、洗うことによって白っぽく見えるようになることがあります。